

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	2570500377
法人名	特定非営利活動法人NPO ふくし永源寺
事業所名	グループホーム やすらぎの里 永源寺
訪問調査日	平成 19 年 5 月 31 日
評価確定日	平成 19 年 6 月 25 日
評価機関名	ナルク滋賀福祉調査センター

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2007年6月25日

【評価実施概要】

事業所番号	2570500377
法人名	特定非営利活動法人NPO ふくし永源寺
事業所名	グループホーム やすらぎの里 永源寺
所在地	滋賀県東近江市山上町 5045 (電話) 0748-27-1199

評価機関名	ナルク滋賀福祉調査センター		
所在地	大津市和邇中浜432番地	平和堂和邇店	2F
訪問調査日	平成19年5月31日	評価確定日	平成19年6月25日

【情報提供票より】(平成 19年 5月 31日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤	5 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 7

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	33,000 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無()	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	450 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(4月30日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1	2 名	要介護2	5 名			
要介護3	1 名	要介護4	1 名			
要介護5	名		要支援2	名		
年齢	平均	81.3 歳	最低	74 歳	最高	86 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東近江市永源寺診療所 織田歯科医院 柘田医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設3年目を迎えた事業所は広々とした田圃の中に在り、周囲には前に5軒の家が在るだけで非常に自然環境に恵まれている。事業所の理念である「地域社会の一員となれる生活」が出来るように、本人の持てる能力を退化させることなく維持していけるよう出来ることは最大限利用者にして貰っている。地域住民の方々から季節の野菜や果物の差し入れが日常的にあり、これらを利用した食生活を利用者と職員が一緒になって考え、仲良く調理されている和やかなグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回指摘を受けた箇所(BGMの音量、居室の臭い、食堂と廊下の温度差など)は職員会議で討議され改善されていた。また運営推進会議を開催しインフルエンザ・ノロウイルスへの取り組みも報告され、市の介護福祉課と情報交換も行っており改善への取り組み成果がみられた。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員会議で全員に説明し項目別に取り組み日程を決めて推進された結果、更なる地域密着の重要性を理解し、職員も自身のレベル向上が必要であることの理解を深めた様子が窺える。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業所としての取り組みを報告し、参加者からの提案としてより一層地域に密着するため自治会への加入を勧められ検討している。またボランティアを受けるだけでなく積極的に参加したらとの提案があり、近所の神社の掃除をするなど行動を開始しており今後継続されることを望みたい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族が訪問された時に意見や苦情を聞き出す努力をされており意見箱も玄関に設けられている。しかし意見があまり出ていないので事業所が主催する行事の時に聞き出すとか、家族会を結成してもらい積極的に意見を出して貰うなどの取り組みを期待したい。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の人々にはかわいがってもらっており、季節の野菜や果物の差し入れ、また旅行に行ったお土産を貰ったりと良好な関係にある。この関係を維持継続する為にも「事業所便り」を早く作られ、家族や関係者、地域の人々に配布されることを期待したい。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中の拠点になり地域の一員として利用者がその人らしさを活かしながら暮らしてゆける理念ができています。		更に地域密着の理念実現に向かって積極的に取り組んで欲しい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関・スタッフルーム・食堂に掲示して職員が共有できるようになっている。	○	理念をより確実に理解して貰う為に、職員全員にカードにして渡し常に身に付け何時でも見られるようにし、また使用されている各書類の端に記入するなどして常に目に触れるようにすることを検討して欲しい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	グループホームの夏祭り等の行事には地域の人々にも参加して貰い、近くの神社の清掃活動もしている。また地域の人から季節の野菜を貰ったり旅行のお土産をもらったりして、地域の生活者の一員としての姿が随所に見受けられる。		自治会に加入して、ボランティアを受けるだけでなく自治会活動にも積極的に参加されることを望みたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票を職員全員に記入してもらい月2回開催される職員会議で検討しているが、それが十分活用されているとは言い難い。	○	職員各人が改善取り組み項目を明確に掴み、何時までに目標を達成するのか、達成までの過程を職員会議で議論するなど着実に進展させる工夫と努力を期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市の健康福祉部、自治会長、民生委員、家族、利用者のメンバーで運営推進会議を開催して意見やアイデアを貰いサービス向上に取り組んでいる。		運営推進会議を着実に2カ月毎に開催され、出された提案を実行されることを望みたい。
		○市町村との連携			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の健康福祉部の担当者と、利用者の健康問題や予防接種等について電話相談したり相互訪問するなどして問題解決に努めている。		更に一層積極的な交流に取り組み、研修の受け入れ等もされることを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問された時に診察の結果や行事の時の様子、また日常の様子を報告して写真を渡し金銭の報告もされている。	○	現状の言葉による報告だけでは忘れることもあり、また印象も弱いので、やすらぎの里の「お便り」を作成され、毎月家族の人や地域の関係者、市の関係者にも配布される事を期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問された時や運営推進会議の時に意見や苦情を聞きだす努力をされている。また玄関には意見箱が設置されており苦情窓口も明示されている。		より一層の意見を求めるために全家族が集まる盆踊りや敬老会などでも意見を出して欲しいと訴え、また家族会の結成に努力されることを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	出来るだけ職員の離職が無いように配慮されているが、止むを得ない場合は引き継ぎ期間を充分とり、管理者がフォローして利用者への影響が出ないようにしている。		現在の職員との良好な関係を維持され、離職者が出ないことを望む。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県および社会福祉協議会が開催する研修に参加してもらい、内容を職員会議で発表し説明して貰っている。また公的資格取得への勉強会も行われている。		個人別育成目標を年間計画として位置づけ、資格取得の条件を満たした職員には積極的に資格取得への応援をされることを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東近江介護サービス事業者協議会へ加盟して研修に参加したり、新人研修を他施設にお願いするなど交流の場を活用しながら、運営者は熱心にサービスの質的向上に取り組んでいる。		他施設を相互訪問して、お互いの良いところを研修し合い取り入れてサービスの向上に役立てられる事を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が家を訪問したり事業所に来てもらったりして顔馴染みになり、昼間に時々利用して貰い充分馴れてから利用してもらっている。		居間は広くて景色も良いので、昼間時に度々遊びに来て貰って、充分顔馴染みになれることを積極的に利用者やご家族に働きかけて欲しい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意な料理、野菜作り、裁縫、洗濯、掃除等を一緒に楽しく行っており、料理については職員が教えて貰う事が多く、共に支えあう微笑ましい姿が見られる。		利用者の能力退化を防ぐ為にも本人の力を充分発揮されている現状を維持して欲しい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族と相談したり、日常生活で本人が発する言葉や態度から本人にとって最良と思われる方法を優先して実施している。		家族から聞かせて貰った過去の歴史や日常生活で本人が話されること、職員が気が付いた事などを個人別にノートに纏めておかれることを期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人ならびに家族と話し合い、その思いを最大限反映できるように職員会議で話し合い計画を作成されている。		日常生活から出てくる本人、家族、職員のアイデアや気づきを上手に活かされることを今後も期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人や家族と共に話し合っ計画を作成し、3カ月毎に職員会議で見直しを行っているが、状況の変化があれば見直して計画の修正を行っている。		日常生活を良く観察して変化が発生すれば臨機応変に計画を修正されている今のやり方を継続して欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族からの要請があれば柔軟に対応をして支援をしている。		地域の核となり多機能性を発揮されることを望みたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月診療所から往診してもらおうと共に、また年に1回かかりつけ医による定期健康診断を受けており、結果は各家庭に報告されている。また体調の悪い時は、かかりつけ医に診てもらっている。		診療所とかかりつけ医との連携を緊密にして緊急時の迅速な対応が出来ることを期待したい。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の内1人のみ話し合いが出来ているが、他の家族には話のきっかけが掴めず話し合いが出来ていない。	○	敬老会等の行事で家族が集まった時に新聞の話題から話しをして、その後で各家族ごとに医師を交えて話し合い、終末期のあり方についての考え方を共有されることを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	やさしい言葉かけに留意し、食事時のたべこぼしはさりげなく拭き取られている。また各種の記録はスタッフルームで行い記録のファイルもキッチンと保管庫に保管されている。		これからも個人情報の保護や利用者のプライバシー保護等について職員会議でさらに徹底されていくことを期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日によって柔軟に対応され、一人ひとりのペースに合わせ買い物、散歩、室内での遊び等希望に合わされている。		今後も現在の各人のペースに合わせた支援体制と姿勢を継続して欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地域の人から季節の野菜の差し入れがあり、普通の家庭の様にメニューを決めて調理を職員と一緒に、共に楽しく食事をされている。		利用者が能力を発揮する最大のものであり、職員が調理を教わりながら共同作業を行っており、この関係が今後とも継続されることを期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日いつでも入浴できる体制が取られており、入浴をしない人にはシャワーや足湯等と柔軟に対応している。		入浴、シャワー、足湯、何時でも入れる体制を今後とも継続されることを望みたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各人の力を十分に活かして貰うように調理、畑仕事、掃除、裁縫、折り紙、歌を歌う等得意なものを選んで行われている。		体を動かして楽しみ事を行い、腹が減れば食事を楽しくいただいている、この支援体制を継続して欲しい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩に出かけたり、ドライブや買い物に連れて行って貰ったり、各人のペースに合わせた支援がされている。		利用者の希望にそった外出の支援体制がこれからも継続されることを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者を始め職員全員が鍵をかけることの弊害を理解されており、日中玄関には鍵をかけず、天気の良い日は玄関の扉は開放され見守りにて対応されている。		今後も鍵をかけないケアの取り組みを期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て年1回マニュアルに基づいた避難訓練を行い、消防署から講評をもらい次の訓練に役立っている。		今後自治会の協力がもらえる様に働きかけられることを望みたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人別に食事の摂取量を記録し、定期的に管理栄養士に栄養バランスの確認をして貰っている。体調の悪い人には別途配慮した食事を準備している。		水分摂取量も同じ書類に記入して管理されることを検討して欲しい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や居間は広くて明るく居心地が良いように配慮されている。また散歩に出たときに野の花を摘み取って玄関、食堂、居間に活けて季節感を取り入れるなどの工夫がされている。		周囲は田圃で居間からは広々と感じられ、居間も広いので今後さらに季節感を取り入れ、やすらぎの里の特徴として欲しい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドやタンス等本人の使い慣れた物を持参して貰っており、孫や家族の写真を飾り居心地が良くなる配慮がされている。		各部屋の換気に注意されているが、毎朝窓を開けて新鮮な外気を取り入れることを忘れないよう望みたい。